（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年十一月廿五日　磐城新聞　（金曜日）　（一）

婦人の交際と虚榮

水野あを

△閑の多い階級

的に活動をせねばならないのが中流以上の婦人の一般でございます。

私はこれを婦人としての職務の一として、寔に結構なことに思ひます、昔は知識を守つてさへゐればよかつた時代は、もう次に述べたことも申すまでもありません、家庭の主婦でもありません、家庭の處理ばかりに没頭することなく、外に向つても亦女としての任務を果さねばならぬことが一層多くあつて、別段婦人としての交際らしきへ没頭することも勿論でございます

中流、若しくは中流以下の家庭の主婦の現状を観ますに、その家庭の處理するものとなるのでございますことは、良人に仕へること、若くはその舅姑に仕へることが一層多くあつて、家庭の主婦としての交際らしきへ没頭することなく、若しくは又近所隣の婦人方とおしやべりをしたり、井戸端會議に時間を潰したりすることなく、家事の餘暇を以て戸外に活動するやうです。

中流、又は中流以下の家庭の主婦達から見たら、毎つてゐる働くやう、言ひ換れば、その閑な生活を、もつと婦人としての任務なつかしさを感じてゐるその胸にすがりつきたいようなその強い腕にすつかりと抱きしめられたいようなそれは譯もなく心のをのゝくまでの戀しさ慕はしさであつた

忠太郎が毎夜のように城しらと何となく悪いことのやうに思ふてもみた「こんなのが戀といふもの違ひない」

とやがて心が答へた姫は忠太郎が真赤になつた、そしてあはてゝ眼の前の幻影を消そうとした、けれどそれは消すことが出來なかつた即つて強く強く追つて來た「妾は戀をしてゐるのだろうと姫は再び心を叱つた

「妾は戀などゝいふものをしてゐるのでない妾は女作らもまた家に害なす奸賊を討たねばならぬ重大な責任があるのだ」姫は重ねて心ど叱つた

「しかしお忠太郎殿は家來ではないが家來と戀をしてどうしやうといふのだろう」と姫は自分の心を淺間しく思つたけれど一度燃え始めた戀の炎は燃わつくさねば止まぬものであつた

「いや忠太郎に單に家來つおふように不卑て考へてはいけないあの人は妾の唯一人の味方なのだ廣い天下に即つて唯一人しかない賴りの人なのだ妾はあの人があるからお會ひした事のない母上の生きて行けるのだそして戀ことばかりなつかしく思つた人なつかしい人妾はあの人を戀してはいけないのであらうか炎のような情熱をどうしやうかと姫の心に限りなく燃わつくづくと何かうなづいて釣竿を取り直した

川端の岩角に腰をかけて居た。

川端の岩角に腰をかけて居た。

水の流れを眺め乍ら姫は今ばやまぬものであつた

靜かに、それを考へてゐるのであつた

「妾はどうして忠太郎殿がいけないあの人は妾の唯一慕はしいのであらうこれまでは御行方不明の父上や物心がついてからまだ一度ものだ妾はあの人があるからお會ひした事のない母上の生きて行けるのだそして戀ことばかりなつかしく思つた人なつかしい人妾はあの人を戀してはいけないのであつたが近頃はまたものであらうかの炎のようなどうした事であらうかのどうしたことばかりを考へて居る」

姫は自分でも判らないまで自分の心を叱つて見たがそのやうに心を叱り乍らも忠太郎の幻影來た、姫は物思ひ許りに夢つたのであつた、そしてそれは消すことの出來ぬものであつたこの時姫の後から「こんなのが戀といふもの……」

とふと心に問ふてみた「こんなのが戀であらうか

尾下げていたが姫の側へ近

社交的活動の要

それには、良人の地位の關係上、單なる婦人同志の交際だけでなく、各種の婦人會などにも關係をしない譯には參りませんし、中には役員などを振當られる場合も出來て來て、これ等の爲めに可なり外交的に活動をせねばならぬことが一層多くあつて、別段婦人としての交際らしきへ没頭することも勿論でございます

中流、若しくは中流以下の家庭の主婦の現状を観ますに、その家庭の處理するものとなるのでございますことは、良人に仕へること、若くはその舅姑に仕へることが一層多くあつて、別段婦人としての交際らしきへ没頭することも勿論でございます

中流、若しくは中流以下の家庭の主婦達から見たら、毎つてゐる働くやう、言ひ換れば、その閑な生活を、もつと婦人としての任務なつかしさを感じてゐるその胸にすがりつきたいようなその強い腕にすつかりと抱きしめられたいようなそれは譯もなく心のをのゝくまでの戀しさ慕はしさであつた

忠太郎が毎夜のように城しらと何となく悪いことのやうに思ふてもみた「こんなのが戀といふもの違ひない」

とやがて心が答へた姫は忠太郎が真赤になつた、そしてあはてゝ眼の前の幻影を消そうとした、けれどそれは消すことが出來なかつた即つて強く強く追つて來た「妾は戀をしてゐるのだろうと姫は再び心を叱つた

「妾は戀などゝいふものをしてゐるのでない妾は女作らもまた家に害なす奸賊を討たねばならぬ重大な責任があるのだ」姫は重ねて心ど叱つた

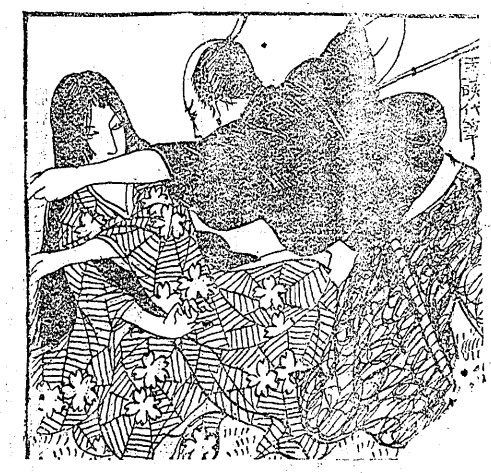
「しかしお忠太郎殿は家來ではないが家來と戀をしてどうしやうといふのだろう」と姫は自分の心を淺間しく思つたけれど一度燃え始めた戀の炎は燃わつくさねば止まぬものであつた

「いや忠太郎に單に家來つおふように不卑て考へてはいけないあの人は妾の唯一慕はしいのであらうこれまでは御行方不明の父上や物心がついてからまだ一度ものだ妾はあの人があるからお會ひした事のない母上の生きて行けるのだそして戀ことばかりなつかしく思つた人なつかしい人妾はあの人を戀してはいけないのであつたが近頃はまたものであらうかの炎のような情熱をどうした事であらうかのどうしたことばかりを考へて居る」

姫は自分でも判らないまで自分の心を叱つて見たがそのやうに心を叱り乍らも忠太郎の幻影來た、姫は物思ひ許りに夢つたのであつた、そしてそれは消すことの出來ぬものであつたこの時姫の後から「こんなのが戀といふもの……」

とふと心に問ふてみた「こんなのが戀であらうか

尾下げていたが姫の側へ近



社交界の大弊害

然し、此處には一つ注意下へ降りて行くそれを獨り常に觀客ファンの忠實さを物語るは巨費を投じ早くも三篇を公開なす盛擧の跡を……吾等の手に優勝の旗は握らる!!

戀の芽生

千世姫は忠太郎を家來のように思はずやさしい兄のように思つたそれが近頃ではもつと別な意味の慕はしう、もつと婦人としての任

廣告

工業的な醫器と最も親切な歯科專門醫院

平町五丁目南

平町南町

大和田病院

電話一七〇番

御需めの方は

平白銀町

吉田新聞店へ

電話四十八

平町田町通り

磐城病院

電話一一四番

平町紺屋町

藤沼醫院

電話五〇七番

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵

金物問屋 ㊁ 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番　一三九番

振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊁の生命なり

平町田町

高久病院

電話五一三番

醫學士　高久忠

耳鼻咽喉科專門　醫學士　赤羽清

藥劑士　佐竹菊雄

內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

平町

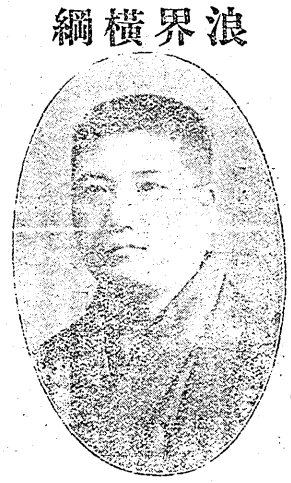
入場料　特等壹圓　一等八十錢

平劇場

當十二月三日四日限り

午後五時開演（號砲合圖）

浪界橫綱 大立物 白鳥帽子



天與之美音を以て眞の藝術に生きたる實師は斯界の明星さして各地共に湧くが如き大人氣實賛有る大天才家たり。

今般滿鮮地方巡業中の處御當地愛浪家諸彦の熱誠なる懇望に據り初御目見得特別大興業好機聞きもらしなく是非御來聽を希ふ。

他社卒先優勝名畫第二篇公開

東日大阪朝日新聞連載小說の映畫化…土師清二氏の傑作品…マキノ省三氏外三監督作

大マキノが常に生む名畫こそ大衆文藝競映畫中の雄篇のみ!!

當市に問題を惹起さして中陽キネマの撮影を釀したる映畫の續篇を見よ然して語れ「砂繪呪縛」のその價値を!!

波瀾萬丈奇々怪々柳影組と天目黨の反爭鬪史!!

〔全拾卷〕

深窓の美姫は捕はれの身、露路奮還は誰がする……而かゝ劍あるのみ天目黨立たんか柳影組の手は八方に伸びて森尾重四郎を求む孫之丞の歸路を擁して國木坂に血煙サッと立てば事件は又一回轉迷宮に入る……

天目黨副首領　勝浦孫之丞　築山の愛妾　た酉

月形龍之助　鈴木澄子　主演

市川小文治、兒島武彦、住の江田鶴子、武井龍三、松浦築枝、山本禮三郎…助演

大マキノが　映畫化したる　競映中の白眉篇……公開の日迫る期待を乞ふ!!

十一月三日　新富座　十一月三日　廿五日

帝キネマ　マキノ

電話六四四

刮目して待てよ

封切り

休刊　大祭第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢）郵稅十錢
廣告料（雜報欄行五十錢堪）場所指定二十錢增
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所　磐城新聞社

平、小名濱に更生の日到る

七年後に現はれる彼我の恩惠

◆―小名濱港の今昔物語り

小名濱港は漁船の内務省港灣調査に際して第二種港灣として港灣としての内務省費補助を受けられ昨報の如く本縣唯一再度定の結果、八ヶ年繼續事業として總額三百八十八萬圓を認められ內國庫補助は百七十八萬圓、縣支出は淺野の百萬圓等併合して二百十萬圓ということに決定した譯で小名濱開港多年の宿望であつた同港商港計畫は今更練り返す迄もなく小名濱町は明治廿七、八年頃までは城城地方一帶の物貨は勿論、奥羽地方から物貨集散し船舶常に輻輳し帆檣林海岸に向つて發展の緒口を立するの盛觀を呈し磐城炭開くの最大急務なるに想到磐城炭の如きは湯本小し漁港修築を計畫し數次縣內外の輸送は專用馬車軌道を敷會に、これが實現の猛運動設し灣內には棧橋を設け、を續け大正七年漸く縣會の決議を得て着工し昨年十月これによつて石炭を帆船に積み海路に依つて京濱地方に盛んに輸送したものであ小名濱町は隆生の期に向ひ現在の繁榮を見るに至つたが明治三十年日本鐵道株式會社の海岸線の全通を見るや交通運輸の大系俄に一變し從來海路をとつてゐた移出入の物貨は何づれも陸路鐵道路によることとなり股賑を極めた小名濱町は一朝にして衰れなる一漁濱とれ等の生產額も漁業五十萬圓、商工業三十六萬圓、農業十四萬圓餘に達し今日では縣下同列の諮問市では有數の町村となつたのである

◇　◇

こゝに於て同町民は地勢上勿論、奥羽地方から物貨集散し船舶常に輻輳し帆檣林海岸に向つて發展の緒口を立するの盛觀を呈し磐城炭開くの最大急務なるに想到磐城炭の如きは湯本小し漁港修築を計畫し數次縣內外の輸送は專用馬車軌道を敷會に、これが實現の猛運動設し灣內には棧橋を設け、を續け大正七年漸く縣會の決議を得て着工し昨年十月これによつて石炭を帆船に積み海路に依つて京濱地方に盛んに輸送したものであ小名濱町は隆生の期に向ひ現在の繁榮を見るに至つた式會社の海岸線の全通を見るや交通運輸の大系俄に一變し從來海路をとつてゐた移出入の物貨は何づれも陸路鐵道路によることとなり股賑を極めた小名濱町は一朝にして衰れなる一漁濱とれ等の生產額も漁業五十萬圓、商工業三十六萬圓、農業十四萬圓餘に達し今日では縣下同列の諮問市では有數の町村となつたのである

◇　◇

同商港問題は明治三十九年以來地元民が地方に中央に毎年怠らず石計畫について或は疎情に請願にあらゆる努力を拂ひ二十餘年の不斷の運動が奏功し今日此の喜びを見るに至つたものである、商港實現の重大性は單に一小名濱町の隆昌を期するものではなく銚子以北の東海岸に於ける良商港として東北產業界に一エポックを作る程の重要性を有するもので獨り地元小名濱町民のみならず縣民が擧げてこれが實現の速からんことを望んだことは當然のことであつて地元地方民が、その實現に向つて長年狂奔して止まなかつたことは誠に無理からぬことである

夫、笹川喜代三郎　原木弘、松本照雄

（四百米）織田時松　小林幸三郎　山野邊武夫　志賀安平　松本照雄

（千五百米）猪狩喜四郎　東海林龜作　佐久間秀夫

（二萬米）猪狩喜四郎　齋山金一　吉田榮一　堤一生田目義男

（八百リレー）白銀チーム　銀治町チーム　田町チーム　山田錦町チーム　古槌小路チーム　古町チーム

（走幅跳）山田秀男　松田幸三郎　花澤輝一　石坂一雄　志賀遠平

（走高跳）花澤輝一　石山一次　高久學夫　眞木弘

（砲丸投）小野五郎　吉田常太郎　關內甚平　花澤行雄　山田秀夫

（劍道）藤井一　今野賦片寄牟三郎　水竹仁　佐々木藏太

（矛道）高松義男　石川忠治　坂本爲一　大塚八郎　鈴木男

（相撲）佐藤一雄　黒井一郎　高島鶴吉　上遠野好行　鈴木又三郎

（大弓）猪狩登　鈴木勝明　矢島音次郎　竹俣政記　北郷重高

○武道競技の得點

△十一點白銀町△九點田町△七點鎌田△六點十六町△五點一丁目六七丁目△四點紺屋町△三點南町研究町、四丁目、城山村本町

（以上）

二學年二、一學年二の學級なれ貧困者の數は日ごと

移轉具体化

けふ委員會

平町役場の移轉新築問題は既に町是調査會の手に依つて細密な調査を經愈々明年度に於て着工する事に決定を見四回は調査會の手から土木委員會の手に引繼れた學既報の如くである土木委員會は數回に亘つて協議し設計其の他重要事項に付いて協議した結果設計は磐城炭礦設計主任技師小出英氏に依頼する事に決定斯くて町役場の新築計劃も愈々凡体化する事となつた

技術員會議

來月に延期

石崎郡農會管內各町村農會技術員會は來る廿八日午前9時から當石城郡役所に於て磐城支部の人々によつて皮方面の有志に運動經過の眞相を報告して了解をうけ猶ほ後の運動方法について協議する筈である

電燈値下運動は

同盟獨自の主張

あす打合會を開き

運動繼續方協議

平町地方の電燈料値下げ運動は本紙既報の如く日勞慕五日平町福住旅館に於て各町村小學校新築工事は既に大半進行し目下內部の造作中にて年度內に落成せしむべく村議中の建設委員阿部瀧藏、矢吹豊、木田隆作、坂本粂之助その他の諸氏職工を督して目下工學中である

植田消防檢閲

石城

郡植田町山田村錦村三町村消防組秋季檢閲は來る二十

夏井校進工

年內中に落成

石城郡夏井村小學校新築工事は既に大半進行し目下內部の造作中にて年度內に落成せしむべく村議中の建設委員阿部瀧藏、矢吹豊、木田隆作、坂本粂之助その他の諸氏職工を督して目下工學中である

鐵道省に

聯合米繭品評會

上遠野入遠野主催で

審査結果發表

石城郡農會主催、上、入遠野兩村聯合秋作農產物品評會並に石城養蠶同業組合主催前記二ケ村聯合繭品評會の褒賞授與式は既報の如く昨廿三日午前十時から上遠野村小學校に於いて開催盛大に擧行されたが入賞者は次の如くである

△農產物入賞者（一等）春白上遠野蛭田サト　春黃入遠野鹽谷捨松　同秋白入遠野永山忠一（二等）春白上遠野生田目俊次郎　同村小野千代松　松田フヨ　大津東馬　井澤秋次　同秋白入遠野佐藤富次　同長山忠一　同芳賀鐵一郎　同上遠野長太郎　同上遠野蛭田重太郎（三等）春白上遠野遠藤長次外二十三名（四等）春白上遠野松田安次外五十一名（以上）

燈臺の看守長

小名濱港燈臺看守長小島彌太郎氏は二十三日附依願解職され後任に當田七左工門氏任命された

又藏の行方

郡山署へ逮捕願

石城郡勿來町大日本炭坑淺野千代吉宅では去る二十日夜現金十圓餘を窃取されたが右は同坑夫山形市生れ木島又藏（三）の所爲と判明逮捕せんとした所、木島はそれと感づき二十一日早朝最寄驛發秋田に向つて逃走したので植田署では郡山署

小學校增築問題

解決猶ほ未し

第三校問題も根強く

平町當局の苦惱

平町小學校增築問題に就ては今日まで度々調査委員會を開き協議して來たが未だ解決されないのでもあり即ち第一、第二の兩校舍に二階を增設せんとするものであるがこれは危險を感じ不便が甚だしいと云はれ、一方南町裏に第三校を新設した方が適當の限りだ

□

問題は須らく學校當局の裁斷に委ねべきで殊更ら明る地に持ち出す程なら子弟を學校に行かぬ方が無難の様だ

□

年の瀨せまつて犯罪をみに增加、他そこに非ら各家庭とも御用心肝要

平町舊城跡

青沼醫院

電話四〇三番

時言

上級生が下級生を毆ぐるト云ふ事は理由の何たるを問はず、默過し得ない問題である

□

然し其の父兄が子弟にビストルを持たせようとするが如きは猶ほ更ら不穩當の限りだ

□

ピストルを持たねば

磐中通ひは危險

上級生の私刑に

父兄敢然と起つ

茨城縣を賀郡高萩町相馬恒作氏は廿三日午前十時から磐城中學校に出頭猪狩署長に面會を求めて學校を欠席してゐた現に磐城中學校三年に通學中の長男章（一七）假名）に對する計劃を進めて來たが更に今廿四日午前十時から役場會議室に土木委員會をすゝ事に變更した

父兄會を

開き學校當局に注意を與へ申合せを

斯くはビストル携帶の許可を願出たものであるとの事

平署に於ては事實の有無に就いて目下調査を進めてゐるが右に對し電燈値下同盟の福岡、綿引兩氏の釋明によれば電燈値下げ問題は何等政黨的色彩なく吉田廣三郎氏の介在した事も個人關係から吾々の持論に共鳴し行同を共にするまでであつて政黨的に見られる事は此の運動上非常に不利益とあるから誤解なき様にしてゐたゞきたいとの事であつた、而し等であると

愛谷堰組合

會議

附議の諸事項

平町外四ケ村八百町歩の灌漑用水路たる愛谷堰普通水利組合では明廿五日午前九時から夏井村役場會議室に組合會を開く事になつたが協議會事項は地方貸付資金借入れの件、今年度組合豫算の追加並に更正一關する件である

年の瀨を控えて

各種犯罪增加

平署と連絡をとつて

平署の移動警察

これまた一年中の書入れ時夜現金十圓餘を窃取されたが右は同坑夫山形市生れ木島又藏（三）の所爲と判明逮捕せんとした所、木島はそれと感づき二十一日早朝最寄驛發秋田に向つて逃走したので植田署では郡山署

石城名物の空ッ風が遠慮なく吹き荒らし、どうやら年の瀨が迫つて來た、歲末賣出しを控て商人は賣込みに仕入に地方から地方へとひねもす夜もすがら慌しい旅も多く每夜三、四件の置引勿來驛發秋田に向つて植田署では郡山署

置引きの

横行は頻々

警察は夜間直通列車

逮捕せんとし殊に夜間直通列車

最寄驛に最

石城郡下附されてゐすこれで列車犯罪の防止などは思ひもよらぬところから沿線の重なる所に各列車ごとに嚴重な警戒をなしこれが防止檢擧に努める由である

工場改築記念特價大賣出し

十一月廿四日より

卅日まで七日間

◆◆利益を度外視した奉仕的廉賣！

◆◆この機を逸せず是非御來店の程を……

特價品の一部

◆最中十個十錢　◆ドーナツツ四個十錢　◆ビスケット百匁十六錢　◆衣パン同二ヶ錢　◆佐久間ドロップス同三十四錢　◆福袋一袋三十錢

マツモトヤ

平町四丁目

電話二一四番

釀造元

清水屋

石城小名濱町

清世界酒

小野醬平

銘酒　醬平

各炭鑛御用達

電話六番

鐵筋コンクリート

鐵骨組立　土木、建築、請負業

和洋建築　合資會社

文化式建築

設計監督

丸三森川組

社長　大森鎭平

東京日本橋南茅場町二〇

電話茅場町66四五二番

◎絶對的超大作映畫週間◎

マーメード大喜劇　アゼントデョン主演

噴飯絶笑　かゆいぞ〳〵　全

アルゼント主人は掻止めの某を驅逐しの苦心アルゼント一世一代の智惠を絞つて大脫線

大阪每日新聞後援

廣瀨恒美　主演

大ロ活NK超大作映畫

原作……赤羽惠一郎

監督……田阪貞隆

烈火旋風　鐵腕記者　全

山本嘉一、島耕二、山內光、瀧花久子助演

スポーツマンスピリット熊谷組一が大學を出で實社界の上に熱と力に依つて悲壯なる環境を經て克く成功を收め得た正活劇

ハロルドロイド大熱演大雄編

家庭喜活劇　ロイドの福の神　全

ジョビナルストン、チャルスステブンソン

ジョセフインクローウエル……助演

獨身主義のロイド君が妻を得たハテ妙な……そこで新婚の味……自由でない……初戀の惱み……姑擊退策……新發明……ハハハ……

谷崎十郎、尾上多見太郎、酒井米子主演

完結篇　鳴門秘帳　全

大阪阿治川尻……夜の埋立地は凄慘にも走馬燈の如く變化を見た敵も味方も一團の運命は本編に依り忠實に解決す

十一月廿四日替り

高級常設　平館

電（四六六）